2026 年 11 月 26 日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

FRONTEO、非構造化ドキュメントデータを解析する AI ソリューション「KIBIT Libria」に MCP サーバーを実装し、生成 AI との連携機能を拡充

生成 AI との対話を通じて社内ドキュメントをシームレスに検索・活用、情報探索の効率化を支援

株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、非構造化ドキュメントデータを解析する AI ソリューション「KIBIT Libria（キビットリブリア）」に、生成 AI との連携を容易にする MCP（Model Context Protocol）[*1] サーバーを実装したことをお知らせします。これにより、ユーザーは生成 AI との自然な言葉による対話を通じて、KIBIT Libria の高度な検索機能を利用し、社内ドキュメントから必要な情報をスムーズに取得・活用できるようになります。

FRONTEO は、2026 年 5 月に KIBIT Libria と生成 AI の API 連携機能を搭載し[*2]、検索・抽出したドキュメントデータをもとに、生成 AI による要約・分析や対応策の提案を行う機能を提供してきました。今回の MCP サーバー実装は、この連携機能をさらに発展させるものです。ユーザーは、生成 AI に自然な言葉で質問するだけで、KIBIT Libria に蓄積された関連文書の検索に基づく回答を得ることができます。さらに、検索結果を踏まえた追加の質問や、情報の要約・比較・分析なども、生成 AI との一連の対話の中で行うことが可能です。これにより、検索と分析のために複数のツールを使い分ける手間がなくなり、ユーザーは必要な情報をより効率的かつスムーズに活用できるようになります。

■新機能の概要と特長

MCP は、生成 AI と外部のシステムやデータを接続するための共通規格です。MCP サーバーを介することで、生成 AI から外部システムの機能を呼び出し、必要な情報を取得することが可能となります。今回実装した MCP サーバーは、生成 AI からの要求に応じて KIBIT Libria の検索機能を実行し、その結果を生成 AI に返す役割を担います。

KIBIT Libria は、FRONTEO 自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT」の高度な自然言語処理技術

を活用し、大量の非構造化ドキュメントから関連性の高い情報を高精度に検索・抽出します。今回の機能拡充により、ユーザーは専門的な検索操作を行うことなく、生成 AI に自然な言葉で質問・指示するだけで、KIBIT Libria の検索機能を活用できるようになります。さらに、検索結果を踏まえた追加の質問や情報の絞り込みも対話形式で行うことができ、必要な情報への迅速かつ効率的なアクセスを支援します。

FRONTEO は、今後も KIBIT Libria の機能強化と外部システムとの連携拡充を進め、企業内に蓄積された情報資産の有効活用を促進するとともに、情報探索の効率化とナレッジマネジメントの高度化に貢献してまいります。

＊1 MCP（Model Context Protocol）：生成 AI と外部のデータやシステムを接続するための共通規格。生成 AI が外部システムの機能を利用したり、必要な情報を取得したりするための仕組みを標準化するもの
＊2 2026 年 5 月 21 日付プレスリリース：FRONTEO、非構造化ドキュメントデータを解析する AI ソリューション「KIBIT Libria」に生成 AI 連携機能を搭載, https://www.fronteo.com/news/pr/20260521

■KIBIT Libria について　URL：https://kibit.fronteo.com/products/kibit-libria

KIBIT Libria は、社内に散在する非構造ドキュメントを検索・分析可能な状態に整備するドキュメント活用ソリューションです。FRONTEO が自社開発した自然言語処理 AI「KIBIT」により、キーワードの一致に依存しない類似文書検索と、検索結果の根拠となる文書・該当箇所の明示を行います。

技術資料、検査報告書、作業日報、会議議事録、音声テキストなど、形式の異なる文書を横断して取り込み、専門用語や社内特有の表現を含む領域でも関連情報を抽出します。製造業・建設業を中心に、設計判断、トラブル対応の初動判断、技能伝承、顧客監査対応などの業務で利用されています。単なるドキュメント検索システムではなく、業務判断の根拠を提示することを目的とした情報基盤です。

■株式会社 FRONTEO について　URL：https://www.fronteo.com/

FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術（日本・欧州・米国・韓国特許取得済）は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、「KIBIT」の技術が創薬の仮説生成や標的分子探索にも活かされています。



「KIBIT」の独自技術およびアプローチを通じて、「集合知に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、ライフサイエンス AI、リスクマネジメント（経済安全保障分野、ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野、ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野、リーガルテック AI 分野）、DX（株式会社アルネッツ）の各事業で社会実装を推進しています。
2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国で事業を展開。資本金 915,057 千円（2026 年 9 月 30 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、KIBIT LibriaはFRONTEOの日本および欧州、米国、韓国における商標または登録商標です。

<報道関係者のお問い合わせ先>
株式会社 FRONTEO 広報担当
Email：pr_contact@fronteo.com　電話：080-3449-6844

<リスクマネジメント事業に関するお問い合わせ先>
株式会社 FRONTEO KIBIT ソリューション統括本部
https://www.fronteo.com/ja/contact/business